

エピソード² 百姓を想う

4月29日（初日）品川・川崎間の磐井神社

品川から川崎までは2里半（約9.75キロメートル）、半分ほどやってきた。磐井神社でひと休みしよう。

後ろの方で、3人の百姓が荒起こし（大まかな掘り起こし）をしている。裕福なら牛馬耕もできようが、困窮しているとそうはいかぬ。

治世に生まれたからといって、もし庶民の実情も知らずに暮らしている大名がいたら、それは李紳や孟子*の言うように鳥獣となんらの変わりもない。

いや・・・犬は曲者がきたら知らせしてくれるし、猫は見送りや出迎えをしてくれる。そう考えると、犬や猫の方が優れておるな！

* 李紳は唐の政治家・詩人

孟子は春秋戦国の儒学者

今世乃諸侯治世に百姓の艱苦を知らぬハ嘆がハしきこと也
いへた賊を知らぬを極

